

第2期三原市まち・ひと・しごと創生総合戦略
(概要版)

1. 総合戦略とは

(1)三原市まち・ひと・しごと創生総合戦略の位置づけ

本市では、平成27年度～31年度を計画期間とする第1期の三原市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「第1期三原市総合戦略」という。）を策定し、5つの基本目標に基づく施策や事業に取り組んできました。

しかし、全国的に人口減少は依然として進んでおり、本市の人口においても、まちの将来を担う若い世代の市外・県外への流出が顕著であるなど、人口の減少傾向の抑制には至っていないのが現状です。

国においては、令和元年12月に第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、人口減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持することをめざしています。

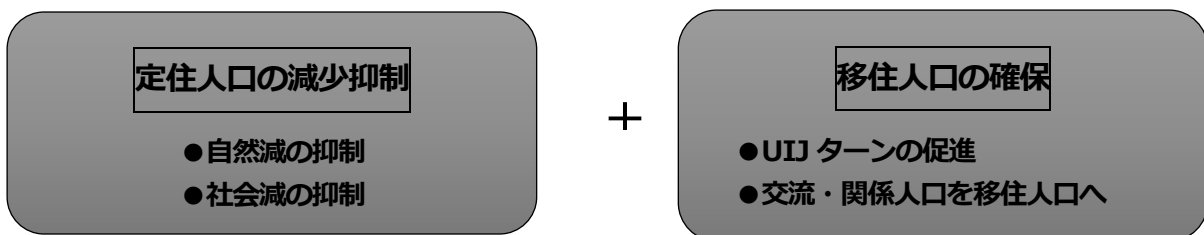
本市においても、第1期の総合戦略期間に行ってきた取組を振り返るとともに、最新の統計資料などにより、改めて本市の人口の分析や推計などを行い、令和2年度を初年度とする今後5年間の目標や施策の方向性等を「第2期三原市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下「第2期三原市総合戦略」）として取りまとめることとします。

(2)第2期三原市総合戦略の対象期間

第2期三原市総合戦略の対象期間は、令和2年度を初年度とし令和6年度を目標年次とする5年間とします。

2. 第2期三原市総合戦略に向けての課題

本市の人口減少対策の方向性としては、死亡数の抑制や出生数の増加といった「定住人口の減少傾向を抑制する」とともに、UIターンをはじめとした「移住人口の確保」により、人口の減少傾向を抑制することが必要です。



①定住人口の減少抑制

「定住人口の減少抑制」とは、近年増加している自然減を抑制するための対策と現在居住している市民の市外への転出を抑制する社会減対策との組み合わせによって、定住人口の減少傾向の抑制を図るものです。

自然減の抑制に向けて対策が必要な事項

- 若い世代が安心して結婚・出産・子育てができる環境づくり
- 結婚・妊娠・出産・子育てまで切れ目のない支援
- 結婚・出産後も希望する働き方やワーク・ライフ・バランスが実現できる環境整備
- 健康寿命を延伸し、生涯にわたって活躍できる仕組みづくり

社会減の抑制に向けて対策が必要な事項

- 20～34歳の若い世代が市内で就労する機会の創出
- 20～34歳の女性が求める働く場づくりと就労支援
- 市外に通勤する若い世代の市内居住への支援
- 市への愛着や郷土愛の醸成を促進するまちづくり

②移住人口の確保

「移住人口の確保」とは、市外に転出した市出身者の地元回帰(Uターン)を図る取組や、Iターンなどにより、市内に転入する人口を取り込む取組の組み合わせによって、移住を希望する人口の市内への転入により社会減の抑制をめざすもので、ターゲットを絞った効果的な取組が重要と考えられます。

UIターン促進の促進に向けて対策が必要な事項

- 市出身者の地元回帰(Uターン)の促進
- 市外からの通勤者や都市圏の移住希望者の転入促進
- 働く場の創出と人手不足対策、市内居住の一体的実施

交流・関係人口を拡大し、移住人口へつなげることをに向けて対策が必要な事項

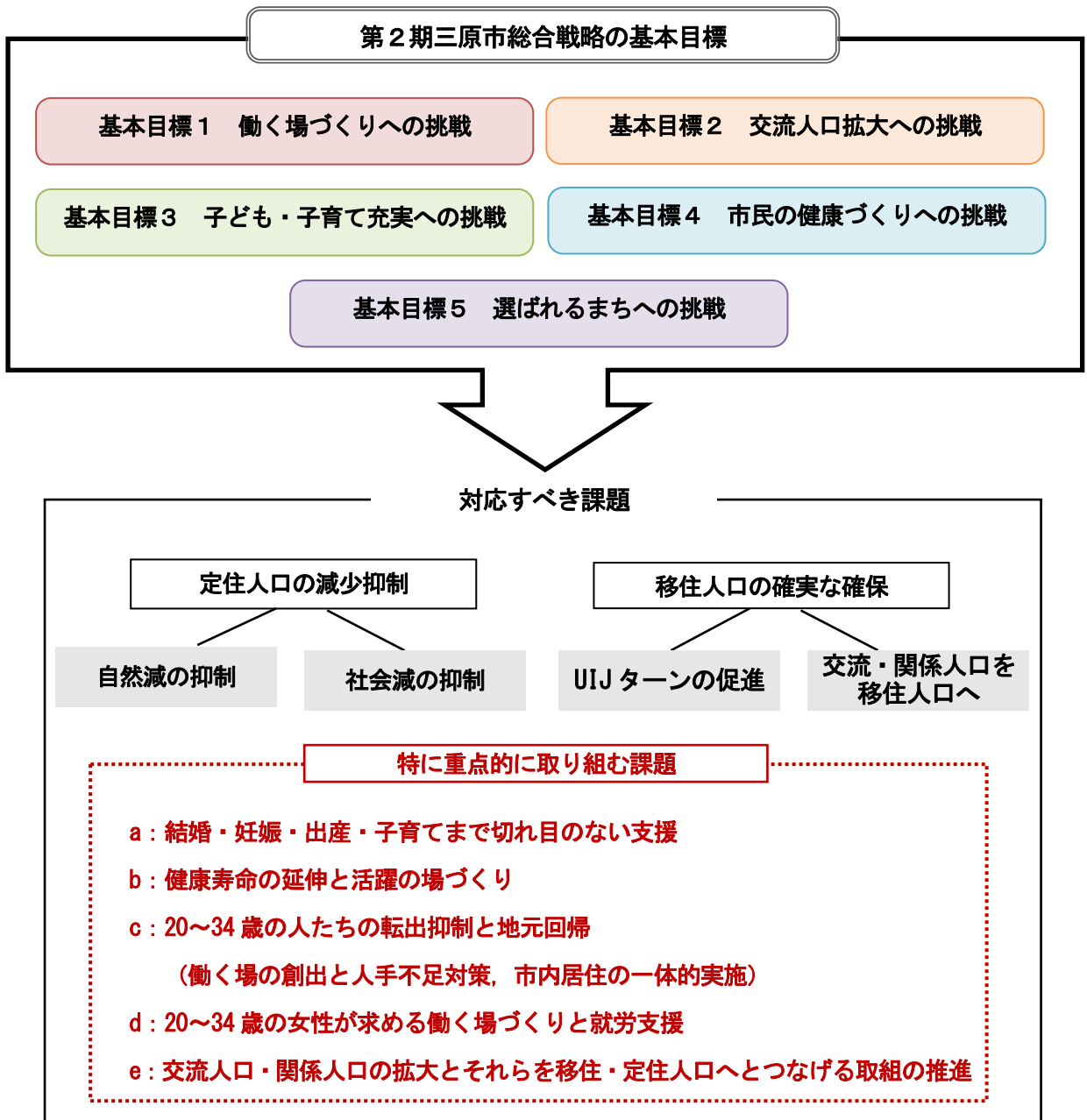
- 交流人口・関係人口の拡大
- 戦略的・効果的な情報発信(シティプロモーション)
- あらゆる施策に移住の視点を盛り込む

3. 第2期三原市総合戦略の基本目標と施策体系等

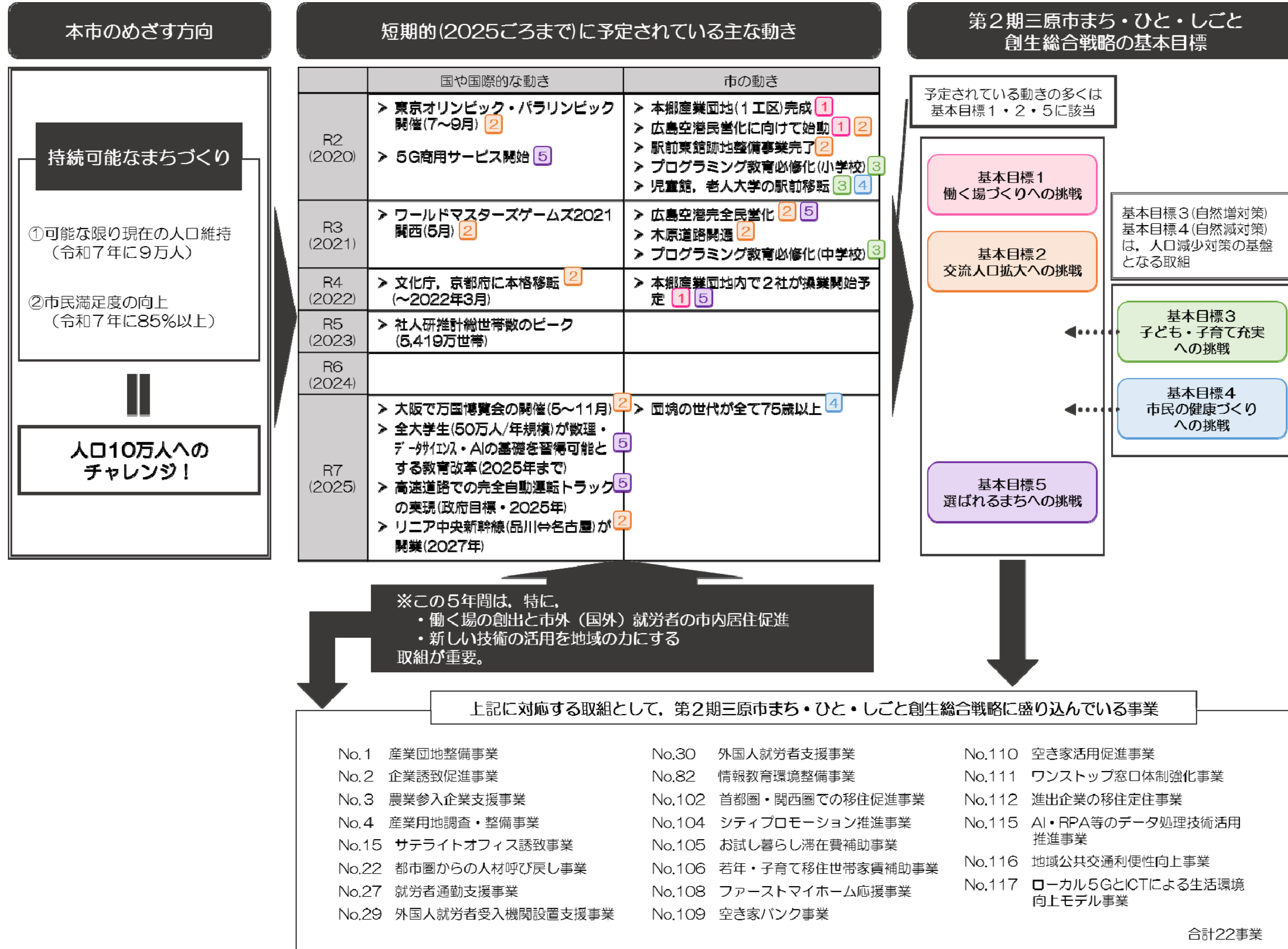
(1)基本目標

第1期総合戦略と同様に5つの基本目標を定め、人口の減少傾向の抑制に向けた取組を推進していきます。第2期三原市総合戦略においては、U・I・Jターンを中心とする移住対策に特化することとし、基本目標5を「選ばれるまちへの挑戦」に改めることとします。

また、5つの基本目標の中でも、本市の人口減少対策として、特に重点的に取り組む必要がある課題を次のとおり整理します。



(2)めざす方向と基本目標の関係



(3) 施策体系

基本目標 1

働く場づくりへの挑戦

人手不足解消や生産性向上をはじめとした既存事業者への支援に加え、新たな企業の誘致、農水産業の担い手確保や経営安定化・成長産業化、20代・30代の若年層や女性、高齢者、外国人等が働きやすい環境づくりを進めます。

- 数値目標
- 市内事業所数
 - 市内就業者数
 - 一人当たり課税対象所得額

【特徴を出す事項】

- ★強み（気候、水、交通、米粉、大学）を活かした産業振興
- ★IT等情報通信分野の働く場の開拓
- ★女性、外国人等が活躍できる環境づくりによる人材不足対策

新たな企業誘致により多くの雇用が創出されている

- 市内産業団地への企業誘致
- 強みを活かした企業誘致

- KPI
- 新たに誘致した企業により創出された雇用数
 - 農業参入企業数

農業・水産業の担い手が確保され、経営力が向上している

- 新規就労者の確保・育成
- 農業・水産業の経営力向上支援

- KPI
- 新規就農者数・認定農業者数
 - 海面水産物水揚量

市内事業者の活動が活発化している

- 起業・創業の支援
- 人材育成の支援
- 経済活動の活性化支援

- KPI
- 市内での空き店舗を活用して創業した延べ人数
 - 起業・創業延べ件数
 - 事業を通じて経営支援した人数

若い世代、女性、高齢者、障害者、外国人が働きやすい環境が整っている

- 若い世代、女性、高齢者、障害者、外国人等の就労支援

- KPI
- 就職を理由とした20代・30代の転出超過数
 - 女性（20代・30代）の就業率
 - 外国人就労者（技能実習者）数

基本目標 2

交流人口拡大への挑戦

本市固有の資源を活かした観光コンテンツを基盤として、広域連携の枠組みなども活用し、国内外の観光客の誘客・周遊・滞在につなげるとともに、おもてなし環境の整備や積極的な情報発信を推進します。

- 数値目標
- 一人当たりの観光消費額

【特徴を出す事項】

- ★空・道・港の結節点、交通利便性を活かした誘客
- ★瀬戸内、食、特産物など三原固有の資源の徹底活用

「三原ならではの」魅力的なコンテンツが整っており、市を訪れる人が周遊・滞在している

- 観光メニューの開発
- 芸術・歴史・文化・スポーツなどの活用による多様な誘客

- KPI
- 市外からの年間観光客数
 - 宿泊客数

まちの魅力を紹介できる市民が増加するなど、市を訪れる人に「おもてなし」を行う環境が整っている

- 観光推進体制の強化・人材育成

- KPI
- おもてなし人材育成数
 - ツアーガイド人数

効果的なプロモーションにより、三原の魅力や観光情報が発信されている

- 戦略的情報発信

- KPI
- テレビ、新聞、雑誌などに観光情報が取り上げられた回数・広告換算額
 - インターネットのアクセス数

三原の魅力的な観光情報が海外に伝わり、多くの外国人観光客が訪れている

- 外国人観光客の受入環境整備

- KPI
- インバウンド観光客数

広域での連携により交流人口拡大につながる効果的な取組が実施できている

- 広域連携による誘客

- KPI
- 広域連携により実施した交流人口拡大に関連する取組での誘客数

基本目標 3

子ども・子育て充実への挑戦

男女の出会いから結婚、妊娠、出産、親子の健康、生活の支援、復職、教育など、子ども・子育て世代への支援の充実に取り組みます。

- 数値目標
- 15～49歳の女性数に占める出生数の割合

【特徴を出す事項】

- ★子育てをしたくなる安全・安心な環境づくり
- ★企業と連携した仕事と家庭の両立支援
- ★県内トップレベルの学力づくり

出会いから結婚、妊娠、出産までのきめ細かな支援体制が充実している

- 出会いから結婚までの支援
- 妊娠・出産の支援

- KPI
- 20代・30代の人口に占める婚姻件数の割合

子育ての支援環境が充実している

- 仕事と家庭の両立支援
- 安心して子育てできる環境整備

- KPI
- 待機児童数
 - 保護者の子育て支援への満足度

魅力的な教育プログラムが行われており、三原の教育の質が高まっている

- 教職員の指導力向上及び児童生徒の体力向上
- 子どもたちの三原への愛着醸成

- KPI
- 学力定着の状況
 - 地域や社会をよくするために何をすべきか考えている児童生徒の割合

基本目標 4

市民の健康づくりへの挑戦

健康づくりに自らが取り組む多くの市民の意識と行動の変容を促す取組や、県立広島大学をはじめとした関係機関等との連携により、健康寿命を延伸させる取組を進めます。

- 数値目標
- 健康寿命

【特徴を出す事項】

- ★健康長寿 No.1 をめざした取組の推進

健康づくりをはじめめるきっかけとなる機会が充実している

- 健康づくり活動への意識変容・行動変容の促進

- KPI
- 特定健診の受診率
 - 大腸がん、子宮がん、乳がん検診の精密検査受診率

市民が気軽に楽しく健康づくり活動に取り組んでいる

- 健康づくり活動の定着に向けた支援

- KPI
- 健康づくり活動に取り組んでいる市民の割合

高齢者が社会とのつながりを持ちながら生きがいを持って暮らしている

- 高齢者の活躍促進のための取組強化
- 健康づくり・介護予防の取組強化
- 認知症予防の取組強化

- KPI
- 介護や支援を必要としない高齢者の割合

基本目標 5

選ばれるまちへの挑戦

訴求力がありターゲットを明確にしたシティプロモーションにより、UIJターンの増加や、交流人口・関係人口を移住人口へとつなげる取組の推進を図るなど、移住者から選ばれるまちづくりを進めます。

- 数値目標
- 社会動態（転出・転入）による人口変動

【特徴を出す事項】

- ★ニーズにあわせた移住支援
- ★地域の特性を活かしたライフアップの提供
- ★関係人口を移住・定住人口へとつなげる取組の推進
- ★スマートシティに向けた取組
- ★訴求力がありターゲットを明確にしたシティプロモーション

関係人口（三原の応援者や三原と関わりを持つ人）が増えている

- 関係人口創出の取組強化

- KPI
- 取組を通じて生まれた関係人口
 - ふるさと納税額・件数

UIJターナーを支援する体制が充実している

- 訴求力のある移住情報の発信
- 移住支援の取組強化

- KPI
- UIJターナーに関する各種制度の活用件数
 - ワンストップ窓口での移住支援世帯

利便性が高く、魅力ある生活を送ることができるとなっている

- まちの利便性向上に向けた取組の充実
- 移住先として魅力的なまちの取組強化

- KPI
- 新たな技術を活用した取組の事業化件数
 - 中心市街地活性化計画における指標達成率

※数値目標やKPI、個別事業などの詳細については、本編でご確認ください。